

添付資料 目次

資料 1	観光まちづくり学部観光まちづくり学科 3 ポリシー関連図	・・・P2
資料 2	「地域マネジメント研究センター規程」	・・・P3
資料 3	観光まちづくり学部観光まちづくり学科 カリキュラムツリー	・・・P5
資料 4	観光まちづくり学部観光まちづくり学科 カリキュラムマップ	・・・P6
資料 5	保険案内	・・・P11
資料 6	学外授業における提出資料一式	・・・P13
資料 7	ゼミ合宿実施要領（新型コロナウイルス感染症防止対策）	・・・P20
資料 8	履修モデル	・・・P22
資料 9	「観光まちづくりインターンシップ」受け入れ先一覧	・・・P28
資料 10	主なインターンシップ受け入れ実績（過去 5 年）	・・・P29
資料 11	入学試験委員会関係組織図	・・・P31
資料 12	「國學院大學専任教職員の定年に関する規程」	・・・P32
資料 13	「令和 7 年度時間割表（案）」	・・・P33
資料 14	学術雑誌選書リスト	・・・P53
資料 15	「國學院大學教授会運営規程」	・・・P61
資料 16	「学部長会規程」	・・・P63
資料 17	「大学執行部会議規程」	・・・P65
資料 18	「観光まちづくり学部長選出に関する規程」	・・・P67
資料 19	「國學院大學自己点検・評価規程」	・・・P68
資料 20	大学基準協会「國學院大學に対する大学評価（認証評価）結果」	・・・P71
資料 21	「國學院大學自己点検・評価に係る外部評価委員会規程」	・・・P97
資料 22	Kokugakuin Progressive Learning Assistive System（通称 K-PLAS）説明資料	・P99

学位授与の方針

ディプロマ・ポリシー

観光まちづくりの視点から活力あふれる地域を実現するための方法論を構築するとともに、その実践を担う人材の養成を目的とし、以下の能力を身につけるために設けられた教育課程を履修して所定の単位を修得した者に「学士（観光まちづくり）」の学位を授与します。

知識・技能

DP-A1 多様な現代社会を理解する深い教養を身につけ、観光や交流が地域にもたらす影響を多角的・批判的に理解している。

DP-A2 地域の課題解決に向けて、地域をとりまく社会構造や社会意識の様態、資源の特性を理解し、観光まちづくりの方策としての政策・計画及び交流・産業に関する知識を身につけている。

DP-A3 観光や交流を通じた活力あふれる地域の実現に向けて、具体的な地域の特性や課題を的確に把握・分析できる。

思考力・表現力・判断力

DP-B1 学修した知識や技能を活用して、具体的な地域を対象とした観光や交流に関する施策の可能性と、それらが活力ある地域の実現にどのように貢献するかについて、理念と根拠に基づき自らの考えを述べるができる。

DP-B2 自らの考えや他者に伝えたい事実について、その実証的根拠を明らかにして、口頭説明や文章、図表、造形物等によって表現し、適切に伝えることができる。

主体性を持って 多様な人々と協働して学ぶ態度

DP-C1 社会の多様性を尊重し、様々な文化的背景を持った他者との共同作業や対話を通じて自分の考えを深めることができる。

DP-C2 学修した知識や技能を活用して、現実の地域社会に働きかける実践的な態度で学ぶとする。

主な教育課程編成方針

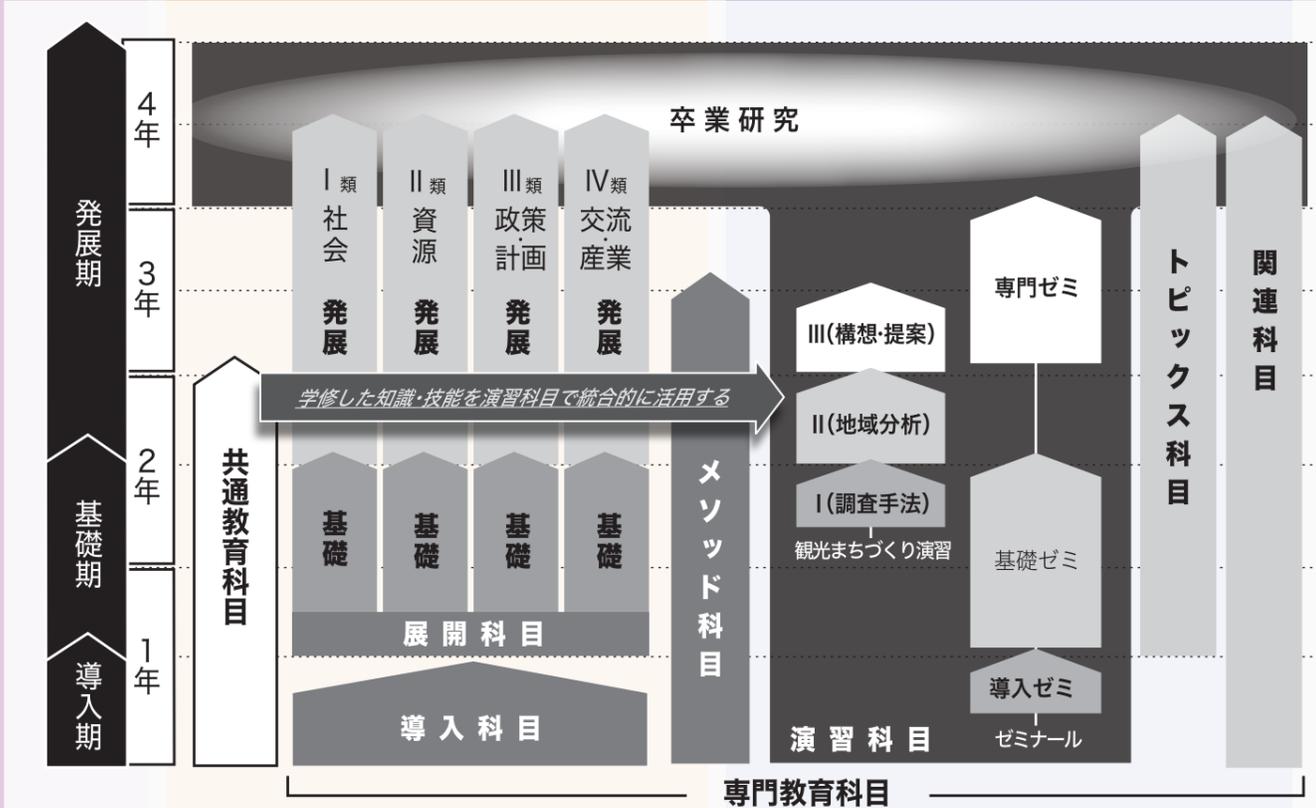
カリキュラム・ポリシーより抜粋

教育課程全体を導入期・基礎期・発展期と3つの段階に区分し、導入期から基礎期にかけては多様な社会のあり方に対する構造的な見方の基盤となる社会学の学びと、観光や交流が地域に与える影響の多面性や、地域に働きかけるまちづくりの基本的な理解を段階的に身につけます。発展期には、学生の興味・関心及び希望する進路に応じて観光まちづくりに関連するさらに多様な分野の応用的・実践的学びへと深めていきます。

CP1 文理の区別なく入学する学生が観光学の専門的学修に円滑に取り組めるよう、初年次から**共通教育科目**と**専門教育科目**を置き、両者の総合的な接続・展開を図る。特に導入期において、幅広いレベルアーツを観光まちづくりをめぐる方法論的な学びと結びつけて修得するため、共通教育科目と並行して専門教育科目に**導入科目**を置き、社会学の方法論と、観光や交流を通じたまちづくりの基本的な考え方を学ぶ。

CP2 観光まちづくりに関わる多様な専門領域の知識を身につけるため、**展開科目**を置く。展開科目の各科目は、観光や交流が地域にもたらす影響の多面性と、地域の社会構造や特性、具体的な観光まちづくりの方策を学ぶための、**社会、資源、政策・計画、交流・産業の4分野**に分類される。さらに、基礎期には4分野のバランスのとれた学びを重視し、発展期には学生自身の興味・関心に応じた選択的・主体的な履修を図るため、**展開科目を基礎と発展に区分**する。基礎期に配置する科目は展開科目基礎として観光や交流が地域にもたらす影響の幅広い理解や、観光まちづくりの方策に関する基礎的理解を図り、発展期に配置する科目は展開科目発展としてより深い社会構造や観光まちづくりの具体的な方策の理解を図る。

CP6 導入・基礎・発展といった段階を経た学修と並行して、観光や交流という現象を学ぶ上で関連する他の専門分野について理解するための**関連科目**を置く。関連科目で、導入期から基礎期にかけての共通教育科目の不足を補うほか、基礎から発展期においては他学部の専門教育をも活用し、本学独自の神道文化と地域形成に関する科目や、博物館学課程に関する科目などを配置する。



CP3 実践的な学修を支える技能として、地域の特性および課題の把握・分析手法や、観光まちづくりの構想・提案の表現手法などを身につけるため、**メソッド科目**を置く。導入期に基本的な調査手法として必修科目「社会調査法入門」を学び、さらに基礎期から発展期にかけて学年の進行と学生自身の興味関心及び進路に応じて順次必要な技能を選択的に修得する。

CP4 活力ある地域の実現に寄与する観光や交流の具体的な施策を自ら考え、提案する能力を身につけるため、**演習科目**を置く。導入期から基礎期にかけては少人数でのゼミナール形式の科目を配置し、基礎期から発展期にかけては「観光まちづくり演習」「専門ゼミナール」「卒業研究」を必修科目として配置する。学びの段階に応じて、他科目で学修した各専門分野の個別知識や技能を統合的に活用し、課題解決型学習を通じて実際の地域への提案を行う能力を実践的に身につける。

CP5 観光まちづくりの現場や、実務により近い分野の専門家及び実務経験豊富な講師を招き、より実践的な話題に触れるための科目として**トピックス科目**を置く。**トピックス科目**では、大学で学修した知識・技能が観光まちづくりの実践の場でどのように生かされるかを知ることで、学修意欲の向上や将来の進路を考える契機とする。

入学者受け入れ方針

アドミッション・ポリシー

既存分野の壁を越えて能動的に学ぶ向上心を保持し、積極的に地域に働きかけようという展望を持つ学生、特に観光やまちづくりに関心を有し、活力ある地域社会の実現に向けて、多様な分野で活躍したいという意欲がある学生を全国から受け入れます。

知識・技能

AP1 本学部で学ぶ分野に関連する教科・科目について、高等学校卒業程度の学力を備える者

思考力・表現力・判断力

AP2 地域社会やその持続可能性に対して問題意識を持ち、論理的に考え、自分の考えを表現するための基礎的な力を持つ者

主体性を持って 多様な人々と協働して学ぶ態度

AP3 自身の興味・関心にしたいがい、主体的に活動に取り組む者、またその成果について第三者からの評価を得ている者

一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜のいずれも上記3観点から適性を確認します。特に一般選抜では外国語(英語)を必須科目として国語、地理歴史・公民、数学、理科と合わせて最大5教科での選抜を行い、高等学校等での**重点履修科目等**による文理の区分を設けず、意欲的な学生を幅広く受け入れます。

○地域マネジメント研究センター規程

(設置)

第1条 國學院大學観光まちづくり学部（以下、「本学部」という。）に地域マネジメント研究センター（以下、「本センター」という。）を置く。

(目的)

第2条 本センターは、全国各地の観光まちづくりの実践者や観光まちづくりに関するオピニオンリーダーと積極的に連携し、地域の奥深い歴史文化、並びに地域経済の再生及び活性化に関する調査・研究を行い、その成果を広く社会に還元することで、持続可能な地域社会の実現に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 本センターは、次に掲げる事業を行う。

- (1) 地域マネジメントに関する調査・研究
- (2) 地域マネジメントに係る政策提言
- (3) 地域との連携による事業と人材育成
- (4) 上記に係る成果の公開及び教育活動への還元
- (5) その他、目的の達成に必要な事業

2 前項に関する事業推進に関する事項は別に定める。

(構成員)

第4条 本センターにセンター長、副センター長を置く。

2 本センターに研究員を置く。

3 前項の規定にかかわらず、本センターに客員の教授又は研究員、若しくは助手を置くことができる。

4 構成員の任用等については、別に定める。

(センター長及び副センター長)

第5条 センター長は、本センターを代表し、その業務を統括する。

2 副センター長は、センター長を補佐して本センターの業務を掌理し、センター長に事故あるときはその職務を代行する。

3 センター長及び副センター長は、本学部の教員の中から、本学部教授会の議を経て、学部長が任命する。

4 センター長及び副センター長の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

(センター運営会議)

第6条 本センターの円滑な運営のため、センター運営会議を置く。

- 2 センター運営会議は、センター長、副センター長、及び研究員で構成し、センター長が議長となる。
- 3 センター運営会議は、以下の各号に掲げる事項について協議・立案する。
 - (1)本センターの年間事業計画、及び予算・決算・人事等の原案作成に関する事項
 - (2)本規程第3条に規定する事業の運営に関する事項
 - (3)本センターに係る規程等の原案作成に関する事項
 - (4)その他、本センターの運営に関する必要な事項
- 3 センター長は、必要に応じてセンター運営会議構成員以外の者の出席を求めることができる。

(事務の所管)

第7条 本センターの事務は、たまプラーザ事務課が所管する。

(改廃)

第8条 この規程の改廃は、本学部教授会の議を経て、学部長がこれを行う。

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

A 知識・技能

DP-A1 多様な現代社会を理解する深い教養を身につけ、観光や交流が地域にもたらす影響を多角的・批判的に理解している。

DP-A2 地域の課題解決に向けて、地域をとりまく社会構造や社会意識の様態、資源の特性を理解し、観光まちづくりの方策としての政策・計画及び交流・産業に関する知識を身につけている。

DP-A3 観光や交流を通じた活力あふれる地域の実現に向けて、具体的な地域の特性や課題を的確に把握・分析できる。

B 思考力・表現力・判断力

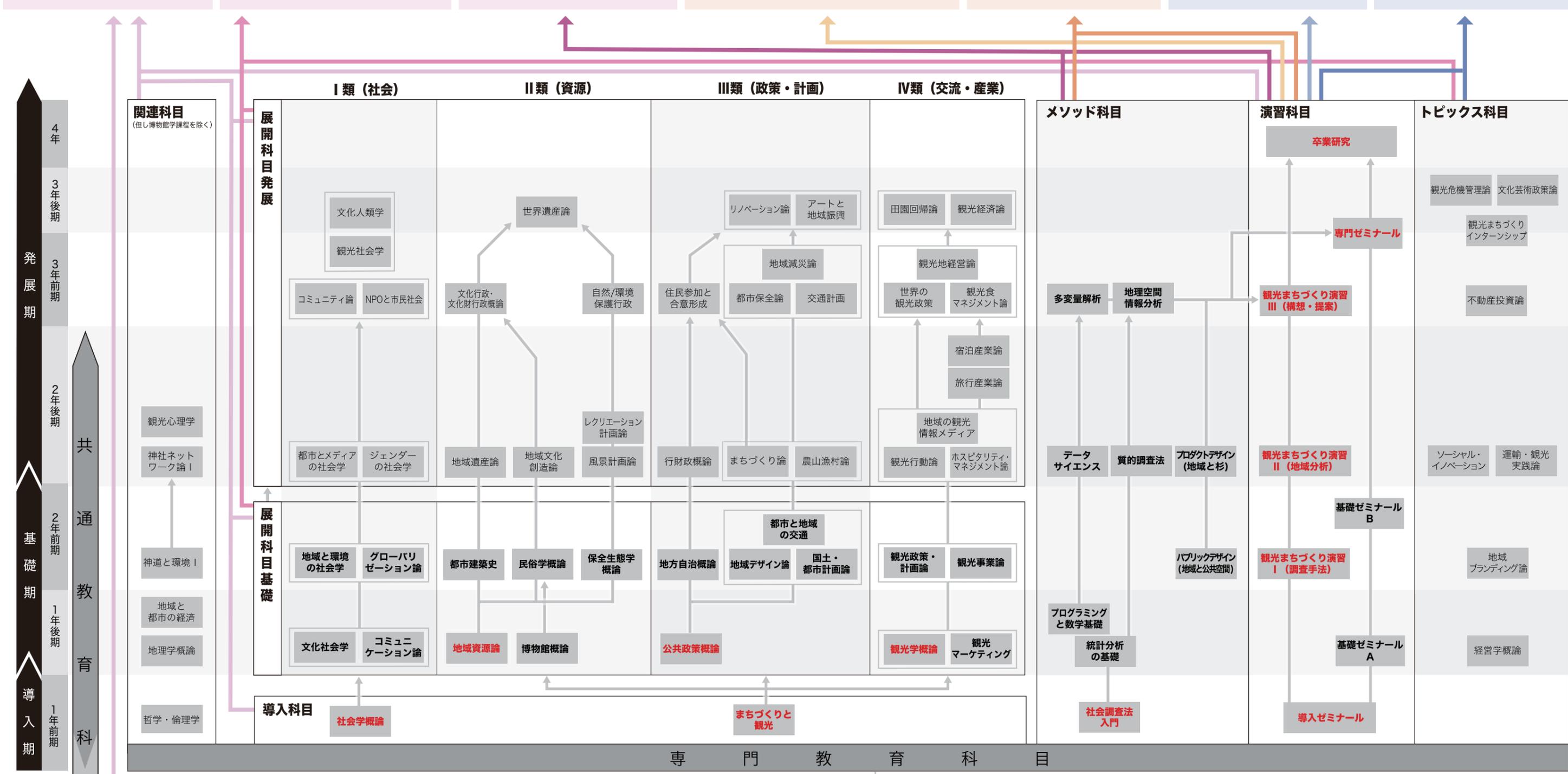
DP-B1 学修した知識や技能を活用して、具体的な地域を対象とした観光や交流に関する施策の可能性と、それらが活力ある地域の実現にどのように貢献するかについて、理念と根拠に基づき自らの考えを述べる事ができる。

DP-B2 自らの考えや他者に伝えたい事実について、その実証的根拠を明らかにして、口頭説明や文章、図表、造形物等によって表現し、適切に伝えることができる。

C 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

DP-C1 社会の多様性を尊重し、様々な文化的背景を持った他者との共同作業や対話を通じて自分の考えを深めることができる。

DP-C2 学修した知識や技能を活用して、現実の地域社会に働きかける実践的な態度で学ぼうとする。



凡例

- 必修科目
- 選択必修科目
- 選択科目

國學院科目群 神道と文化
建学の精神や日本文化を理解する

言語スキル科目群 第2外国語 英語Ⅰ～Ⅳ
グローバル社会に必要な異文化理解力・コミュニケーション力を培う

STEM*系科目群 * Science, Technology, Engineering 及び Mathematics の頭文字
技術革新が進む社会で活躍するために必要な知識と能力を習得する

その他の科目 シチズンシップ科目群 専門教養科目群 ライフデザイン科目群
複眼的な視点を獲得するため、法学、文学、経済学、スポーツ科学などの基礎を学ぶ

- 設置趣旨資料-5 -

観光まちづくり学部観光まちづくり学科 カリキュラム・マップ

【ディプロマ・ポリシー】

【知識・技能】	
DP-A1	多様な現代社会を理解する深い教養を身につけ、観光や交流が地域にもたらす影響を多角的・批判的に理解している。
DP-A2	地域の課題解決に向けて、地域をとりまく社会構造や社会意識の様態、資源の特性を理解し、観光まちづくりの方策としての政策・計画及び交流・産業に関する知識を身につけている。
DP-A3	観光や交流を通じた活力あふれる地域の実現に向けて、具体的な地域の特性や課題を的確に把握・分析できる。
【思考力・判断力・表現力】	
DP-B1	学修した知識や技能を活用して、具体的な地域を対象とした観光や交流に関する施策の可能性と、それらが活力ある地域の実現にどのように貢献するかについて、理念と根拠に基づき自らの考えを述べることができる。
DP-B2	自らの考えや他者に伝えたい事実について、その実証的根拠を明らかにして、口頭説明や文章、図表、造形物等によって表現し、適切に伝えることができる。
【主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度】	
DP-C1	社会の多様性を尊重し、様々な文化的背景を持った他者との共同作業や対話を通じて自分の考えを深めることができる。
DP-C2	習得した知識や技能を活用して、現実の地域社会に働きかける実践的な態度で学ぼうとする。

◎観光まちづくり学部の卒業要件

科目区分	卒業に要する単位
共通教育科目	26単位以上
専門教育科目	74単位以上
自由選択領域 ・ 共通教育科目で26単位を超えて修得した単位 ・ 専門教育科目で74単位を超えて修得した単位	24単位

◎専門教育科目・科目区分別の履修条件

科目区分				履修方法	単位数	
導入科目				必修科目	4単位	
メソッド科目				必修科目	2単位	
				選択必修科目	4単位以上	
演習科目				必修科目	18単位	
				選択必修科目	2単位以上	
展開科目	44単位以上	基礎	26単位以上	I類（社会）	選択必修科目	4単位以上
				II類（資源）	必修科目	2単位
					選択必修科目	4単位以上
				III類（政策・計画）	必修科目	2単位
		選択必修科目	4単位以上			
		IV類（交流・産業）	必修科目	2単位		
選択必修科目	4単位以上					
		発展		選択科目	12単位以上	
専門教育科目全体					74単位以上	

観光まちづくり学部観光まちづくり学科 カリキュラム・マップ

科目区分	授業科目の名称	配当年次		単位数			授業形態			ディプロマ・ポリシーとの対応								
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	A1	A2	A3	B1	B2	C1	C2		
共通教育科目	國學院科目群	神道と文化	1	前	2			✓			○							
	國學院の学び（國學院大學の歴史と未来）	1・2	前		2			✓			○							
	日本文化を知る（日本文化の普遍性と固有性）	1・2	後		2			✓			○							
	日本文化を知る（儀礼文化研究）	1・2	後		2			✓			○							
	日本文化を知る（武道の特性と国際化）	1・2	後		2			✓			○							
	日本文化を知る（日本文化論と日本神話）	1・2	後		2			✓			○							
	Japan Studies	2・3	前		2			✓			○							
言語スキル科目群	日本語	基礎日本語	1・2	後		2			✓		○						○	
	英語	英語Ⅰ	1	前	2				✓		○							○
		英語Ⅱ	1	後	2				✓		○							○
		英語Ⅲ	2	前	2				✓		○							○
		英語Ⅳ	2	後	2				✓		○							○
	外国語	ドイツ語Ⅰ	1	前		2			✓		○							○
		ドイツ語Ⅱ	1	後		2			✓		○							○
		フランス語Ⅰ	1	前		2			✓		○							○
		フランス語Ⅱ	1	後		2			✓		○							○
		中国語Ⅰ	1	前		2			✓		○							○
		中国語Ⅱ	1	後		2			✓		○							○
		韓国語Ⅰ	1	前		2			✓		○							○
		韓国語Ⅱ	1	後		2			✓		○							○
	STEM系科目群	データサイエンス	コンピュータと情報Ⅰ	1・2	前・後		2			✓		○						○
コンピュータと情報Ⅱ			1・2	後		2			✓		○						○	
情報科学入門			1・2	前		2		✓			○						○	
科学と論理		地球環境と人間	1・2	後		2			✓		○							
		宇宙物理学入門	1・2	前		2			✓		○							
		科学的思考法	1・2	後		2			✓		○							
シチズンシップ科目群		法学（日本国憲法）	1・2	前		2			✓		○							
		法と社会参加（企業での活動と法）	1・2	後		2			✓		○							
		政治と社会参加（社会を変えるNPO活動）	1・2	後		2			✓		○							
	行政と市民生活（デジタル時代の行政と社会）	1・2	前		2			✓		○								

科目区分	授業科目の名称	配当年次		単位数			授業形態			ディプロマ・ポリシーとの対応							
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	A1	A2	A3	B1	B2	C1	C2	
共通教育科目	専門教養科目群	比較文化論Ⅰ	1・2	後		2		✓			○						
		日本の経済	1・2	前		2		✓			○						
		経済理論入門	1・2	後		2		✓			○						
		経済経営数学入門	1・2	前		2		✓			○						
		経済学史入門	1・2	後		2		✓			○						
	ライフデザイン科目群	スポーツ実技A	1・2	前		1				✓	○						
		スポーツ実技B	1・2	後		1				✓	○						
		スポーツ科学論	1・2	後		2		✓			○						
専門教育科目	導入科目	社会学概論	1	前	2		✓			○							
		まちづくりと観光	1	前	2		✓			○							
	メソッド科目	社会調査法入門	1	前	2		✓					○		○			
		統計分析の基礎	1	後	2			✓				○		○			
		プログラミングと数学基礎	1	後	2			✓				○		○			
		パブリックデザイン（地域と公共空間）	2・3	前	2		✓					○		○			
		プロダクトデザイン（地域と杉）	2・3	後	2		✓					○		○			
		データサイエンス	2・3	後	2			✓				○		○			
		質的調査法	2・3	後	2			✓				○		○			
		多変量解析	3	前	2			✓				○		○			
		地理空間情報分析	3	前	2			✓				○		○			
		演習科目	導入ゼミナール	1	前	2				✓					○	○	
	観光まちづくり演習Ⅰ（調査手法）		2	前	2			✓				○		○			
	観光まちづくり演習Ⅱ（地域分析）		2	後	4			✓				○	○	○	○		
	観光まちづくり演習Ⅲ（構想・提案）		3	前	4			✓				○	○	○	○	○	
	専門ゼミナール		3	通	2			✓					○	○	○	○	
卒業研究	4		通	4			✓					○	○	○	○		
基礎ゼミナールA	1		後	2			✓			○				○			
基礎ゼミナールB	2		前	2			✓			○				○			
展開科目	基礎Ⅰ類（社会）	文化社会学	1	後	2		✓			○	○						
		コミュニケーション論	1	後	2		✓			○							
		地域と環境の社会学	2	前	2		✓			○	○						
		グローバリゼーション論	2	前	2		✓			○							
	基礎Ⅱ類（資源）	地域資源論	1	後	2		✓			○	○						
		博物館概論	1	後	2		✓			○							
		都市建築史	2	前	2		✓			○	○						
		民俗学概論	2	前	2		✓			○							
保全生態学概論	2	前	2		✓			○	○								

科目区分	授業科目の名称	配当年次		単位数			授業形態			ディプロマ・ポリシーとの対応							
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	A1	A2	A3	B1	B2	C1	C2	
専門教育科目	展開科目 基礎Ⅲ類 (政策・計画)	公共政策概論	1	後	2			✓			○	○					
		地方自治概論	2	前		2		✓			○	○					
		地域デザイン論	2	前		2		✓			○	○					
		国土・都市計画論	2	前		2		✓			○	○					
		都市と地域の交通	2	前		2		✓			○	○					
	基礎Ⅳ類 (交流・産業)	観光学概論	1	後	2			✓			○	○					
		観光マーケティング	1	後		2		✓			○	○					
		観光政策・計画論	2	前		2		✓			○	○					
		観光事業論	2	前		2		✓			○	○					
	発展Ⅰ類 (社会)	都市とメディアの社会学	2・3	後		2		✓			○	○					
		ジェンダーの社会学	2・3	後		2		✓			○	○					
		コミュニティ論	3	前		2		✓			○	○					
		NPOと市民社会	3	前		2		✓			○	○					
		観光社会学	3	前		2		✓			○	○					
		文化人類学	3	後		2		✓			○	○					
	発展Ⅱ類 (資源)	地域遺産論	2・3	後		2		✓				○					
		地域文化創造論	2・3	後		2		✓				○					
		風景計画論	2・3	後		2		✓				○					
		レクリエーション計画論	2・3	後		2		✓				○					
		文化行政・文化財行政概論	3	前		2		✓				○					
		自然/環境保護行政概論	3	前		2		✓				○					
		世界遺産論	3	後		2		✓				○					
	発展Ⅲ類 (政策・計画)	行財政概論	2・3	後		2		✓				○					
		まちづくり論	2・3	後		2		✓				○					
		農山漁村論	2・3	後		2		✓				○					
		都市保全論	3	前		2		✓				○					
		交通計画	3	前		2		✓				○					
		住民参加と合意形成	3・4	前		2		✓				○					
		地域減災論	3・4	前		2		✓				○					
		リノベーション論	3	後		2		✓				○					
アートと地域振興		3	後		2		✓				○						
発展Ⅳ類 (交流・産業)	観光行動論	2・3	後		2		✓				○						
	ホスピタリティ・マネジメント論	2・3	後		2		✓				○						
	地域の観光情報メディア	2・3	後		2		✓				○						
	旅行産業論	2・3	後		2		✓				○						
	宿泊産業論	2・3	後		2		✓				○						
	観光地経営論	3	前		2		✓				○						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			ディプロマ・ポリシーとの対応								
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	A1	A2	A3	B1	B2	C1	C2		
専門教育科目	発展Ⅳ類 (交流・産業)	観光食マネジメント論	3・4	前		2		✓					○				
		世界の観光政策	3・4	前		2		✓					○				
		観光経済論	3	後		2		✓					○				
		田園回帰論	3	後		2		✓					○				
専門教育科目	トピックス科目	経営学概論	1・2	後		2		✓					○				○
		地域ブランディング論	2・3	前		2		✓					○				○
		ソーシャル・イノベーション	2・3	後		2		✓					○				○
		運輸・観光実践論	2・3	後		2		✓					○				○
		不動産投資論	3・4	前		2		✓					○				○
		文化芸術政策論	3	後		2		✓					○				○
		観光危機管理論	3	後		2		✓					○				○
		観光まちづくりインターンシップ	3	通		2				✓				○	○	○	○
関連科目	哲学・倫理学	1	前		2		✓					○					
	地理学概論	1	後		2		✓					○					
	地域と都市の経済	1・2	後		2		✓					○					
	神道と環境 I	2	前		2		✓					○					
	観光心理学	2	後		2		✓					○					
	神社ネットワーク論 I	2・3	後		2		✓					○					

※自由科目(要卒外)は掲載していない。